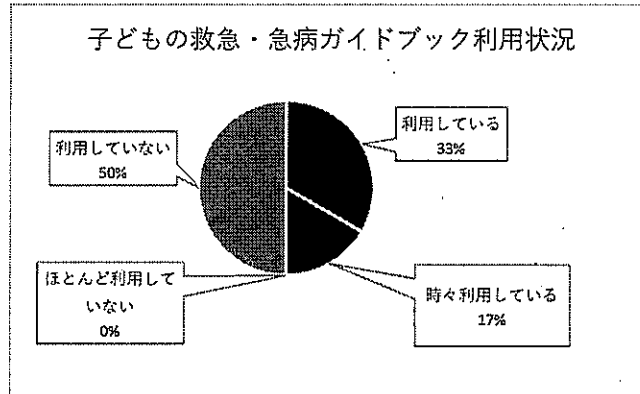


子どもの救急・急病ガイドブック 利用状況アンケート結果

問1 医療機関を受診のために訪れた保護者に対して、「子どもの救急・急病ガイドブック」を利用又は紹介していますか。

利用している	2
時々利用している	1
ほとんど利用していない	0
利用していない	3
合計	6



問2 「子どもの救急・急病ガイドブック」をどのように利用されていますか。

(1) 利用されている方

医師	
看護師	3
薬剤師	
事務職員	
その他	2
合計	5

(2) 利用方法

待合室で利用している。

来院理由（主訴）がそのガイドブックの該当する項目と一致していて、保護者への説明に役立つと思われる時に利用している。

医師の説明で、十分理解が得られたときは利用しないことがある。

外来が混んでいて、十分な説明ができないと判断したときに、このガイドブックを紹介している。

初診の時に情報として渡している。

問3 利用していない場合、その理由を教えてください。（自由記述）

ガイドブックの存在を知らなかった。もらっていない。

診療中に患者様に紹介している余裕がない。ガイドブックは各家庭にあり、目を通していただいていると思っている。

今回存在を知った。今後利用したい。

問4 掲載内容について、改善や修正すべき箇所はありますか。（自由記述）

特になし

○インデックス（見出し）

⇒1 こんな時は ではなく、けいれん、熱、吐いたらなどに対応する。そうすれば表紙に目次をつける必要はない。

○P18（子供に行う緊急蘇生法）⇒1人の場合がわかりにくい。救急なので読んでいる時間がない。一目でわかりやすくした方がよい。

○豊島文京こども救急の時間を明記。

以前より、ポイントを得た良い一般向け冊子だと評価している。皆さん文字が多いと読まないで、内容的に削除する箇所はありませんが、極力文字数を絞り、図説などを利用して視覚に訴えると良いと思う。

問5 「子どもの救急・急病ガイドブック」の在庫数をお知らせください。

0冊～15冊

